

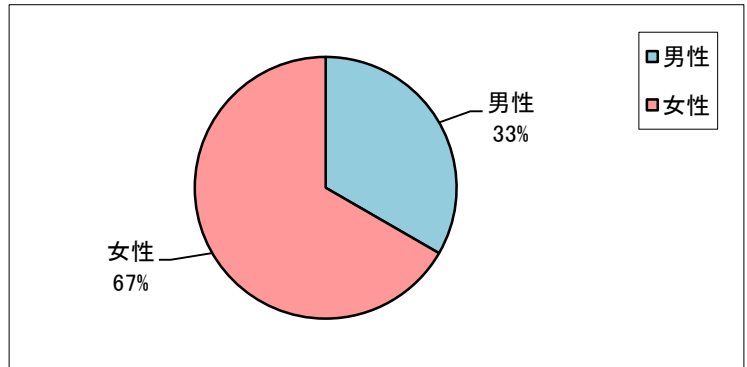
- ◆研修名 平成28年度県民公開講座アンケート
- ◆研修日時
- ◆アンケート回収数 96枚
- ◆回答率 83.5 % (参加者 115 名)

あなたのこと

性別

男性	31
女性	62
合計	93

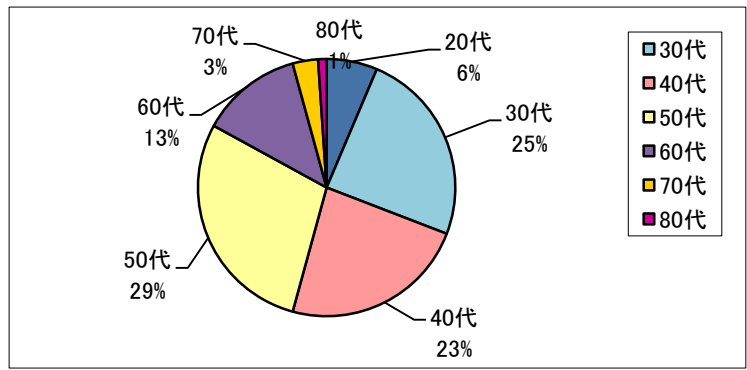
無回答:3



年齢

20代	6
30代	23
40代	22
50代	27
60代	12
70代	3
80代	1
合計	94

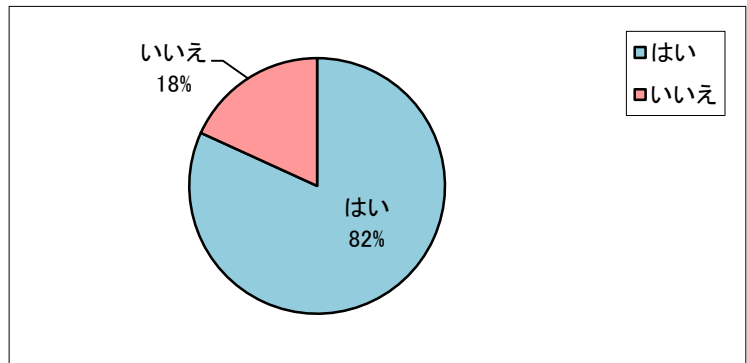
無回答:2



医療や介護の仕事に従事している

はい	72
いいえ	16
合計	88

無回答:8

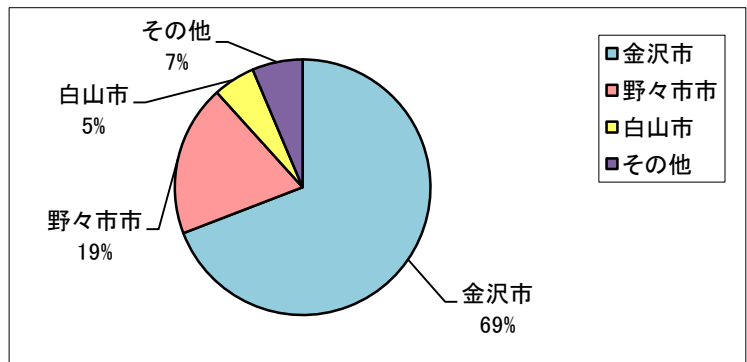


住所

金沢市	65
野々市市	18
白山市	5
その他	6
合計	94

無回答:2

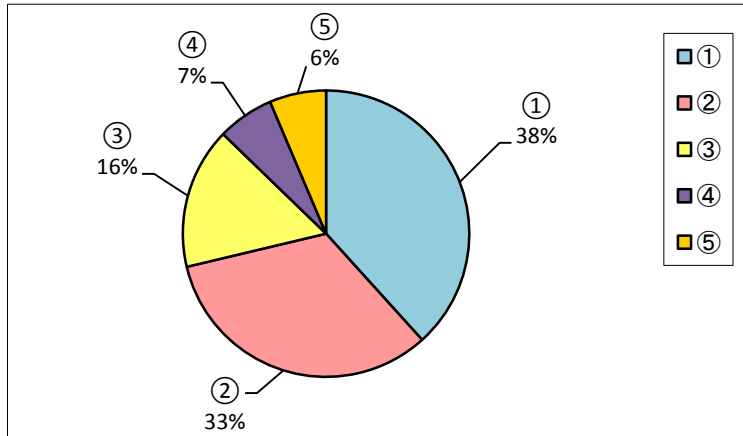
その他:かほく市、小松市



あなたに介護が必要になったときにはどこで生活したいと思うか？

① 子供に世話をかけず、介護サービスなどを利用して出来る限り自宅で生活したい。	36
② 子供・配偶者の支援や、介護サービスなどを利用して出来る限り自宅で生活したい。	31
③ 自宅近くの地域にある介護付きの施設に入所したい。	15
④ 地域にはこだわらず、質の高い介護が受けられる施設に入所したい。	6
⑤ その他	6
合計	94

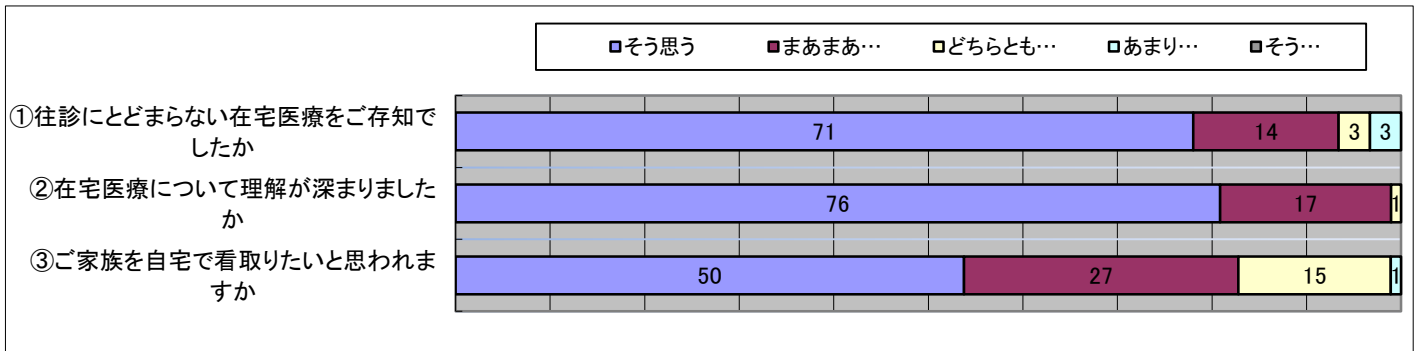
無回答:4
重複回答:2



講座に参加してどうだったか

	そう思う	まあまあ そう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	そう 思わない	合計
① 往診にとどまらない在宅医療をご存知でしたか	71	14	3	3	0	91
② 在宅医療について理解が深まりましたか	76	17	1	0	0	94
③ ご家族を自宅で看取りたいと思われませんか	50	27	15	1	0	93

無回答:5
無回答:2
無回答:3



感想やご意見

- * ご家族のお話を聞くことができ参考になりました。
- * 子供(孫)の生命倫理の醸成のためにも在宅で最期を迎えたい。そのためにも良いお話、企画でした。
- * 家族様の最後の選択に対する悩みが聞けて良かった。
- * ご家族のゆらぎやお気持ちをおききしたことが大変勉強になりました。ありがとうございました。「おくさまおつかれさまでした。」すてきな御主人と頼もしい息子さん達にかこまれていらっしゃるね。私もそうありたいと思います。
- * 参考に成りましたが自分の場合を考えた場合どうかととてもとまどいます。最後は家族の選択になると思う。
- * 私は息子夫婦と暮らしていますが自分の最後も多田さんご家族のように自宅で過ごせたら、最期を迎えたいと思いました。でもお金のことを考えると不安ですが…。いろんな選たくが出来ることを知りました。

- 参加して良かったです。多田先生に教えていただいた事があり、こんな豊かな最期をむかえられて良かったと思いました。しかしこの様な恵まれた方ばかりではないのではとも思います。お金の問題、ひとり暮らしの中での病気、介護する側のつらさ(心理的、体力的)のケアはそれぞれで、問題はありすぎると思います。でもこうした動きがあることに希望が持てました。
- * 今日参加するまでは自分の最後は「子供に妻に迷惑掛けない…」と思っていましたか多田さんのお話しにより、子供か、配偶者が、家族が介護に関わることによって、豊穡な時間となる選択肢もある事について、事例を教えてくださいました。有難うございました。
- * 在宅での環境体制作り、選択肢の提案が大切。何かあれば再入院できる安心感があれば自宅での看取りもできるような気がします。看取りをされた家族の声を聞いて良かった。
- * 「本人らしさ」を考えさせられた講座だったと思う。売上や金もうけに走ってはいけない。
- 家族の声を聞かせて頂いたのはとても貴重な学びです。選択の場面は、とてもためになりますし、でもこれで良かったかとふりかえることや一つ一つのエピソードに対して息子さんとしての気づき感性のすばらしさに多田様の御息子に教育され、子育てされた多田先生のすばらしさをあらためて受けとめさせてもらいました。妹も金大で先生に学びを頂いておりました。
- 在宅で看取りをされたご家族の生の声を聞くことができ、とても貴重な体験をさせていただきました。他職種間の迅速で密な連携の大切さと本人様、ご家族の方への選択肢の提示の大切さを改めて再確認させていただきました。訪問看護の場でも今回の学んだことを活かしていきたいと思いました。
- * 難しいことではなく一人の人としての関わりや視点が大切であると感じました。
- * その人が大切にしていることを常に考え、自分の知っている又多くの情報を提供して、その人Faが選択出来る様していきたいと更に思った。
- * 多田さんのご家族のお話が、とても心に残りました。最後の時を家族のもとで自宅で過ごす本当の意味を知れました。その人が生きた人生の最期をその人らしく迎えられるよう、自分ができることをこれからも考え続け実践していきたいです。
- * ご家族様のお気持ちを知るいい機会でした。私たちが家族様にできること、もう少し考えていくことも必要なんだと感じました。今日はありがとうございました。
- * ご家族の話を生でできて、とても貴重な時間でした。ご家族はこんな選択を迫られ、こんな気持ちでいるんだと知ることができました。
- * 最期の時がどうなるのかが不安で病院、施設任せにするより色々選択できる、柔軟に対応できるというのがとても安心しました。今後もこういった活動に参加をしたいと思います。
- * 在宅医療が、こんなにすてきな関わり、人との絆が持てるものだとして初めて知り、本当にすてきな事だと思いました。少しでも私もかわりたかったです。
- 私もケアマネとして末期癌の方のケアマネジメントを担当しました。御本人様は釣りが趣味で、社協で車椅子をレンタルできることや主治医に確認等を行っていましたが、御家族が心配に思われ結局希望叶わず、しかし、葬儀では釣りざおを飾られていました。これも1つの事例でしたが、色々な事例があるのだと改めて今日お話を聞いて感じました。ありがとうございました。
- * 終末ケアにおいては、死に対しては家族をまきこんでいくことが家族にとっても本人にとっても幸せなことなのだと思う。どちらにしる医療の緩和ケアがあってこそですが。
- ご家族様の貴重なお話をきけてとても参考になりました。ご家族様の選択に至るまでの心の動きや「子供としての時間をもてた」という一言がとても胸をうちました。とても良い時間を頂きました。ありがとうございました。本人様、家族さんが決定していける選択肢をこれからも提案していかなければと強く感じました。
- * 在宅のすばらしさを改めて確認できました。在宅に関わる仕事をするなかでより明るい生活ができる関わりをしていきたいと思った。とても素適な時間をありがとうございました。
- * Tさんの息子さんのお話からたくさんの宝物をいただきました。家族が選択するための教育の機会。大切なヒントをいただけたように思います。運営に関わった皆様ありがとうございました。
- * 施設ナースとして働いていますが在宅ではどう違うかと思い在宅の方が家族が常にいるので施設(在宅)より自宅が好ましいなと感じた。
- * 在宅介護で父を看取ったので、家族の気持ちは理解できる話でした。いかに人々に助けられたかを思い出しました。
- * ご家族の方の話は感動的でした。
- * 質問として話された方が、少し失礼ではないかと。
- 御家族のお話がとても良かったです。質問の時間はもうけなかった方が良かったと思います。げんなりしました。失礼な感じだし恥ずかしかったです。
- * 多田先生の教え子の一人です。(教養時代金沢城内で習ってました。)貴重なお話、具体的な事例(気持ちの変化、選択など)やヒントをいただいたと思います。
- * いろいろ方に在宅ネットワーク知って頂きたいと思いました。
- * 自宅で看取った方のお話を聞いてとても良かったと思います。
- * とても良かったです。もっとも在宅医療が地域の皆さんに理解していってほしいと思います。
- * ご家族のお話をきかれたことは良かったと思います。
- * 家族の思いが直に伝わる良い機会であった。看取りの暗いイメージが払拭できる良い事例でした。
- * 御家族のお話を聞いて今まで医療者側の一方的な思いを押しつけてるよつに感じました。貴重な体験を聞くことができ良かったです。
- * ご家族の話が非常に心に残りました。

- * 気持の変化や迷いなど良く分かりました。選択していくこと、それを支えることの大切さを感じました。
- * 興味があるので、又、いろいろと学習できたらと思います。
- * とても貴重なお話をきけてよかったです。私も母の介護をしながら生活していますが、自分に当てはめ聞かせて頂きました。ありがとうございます。
- * ご家族のお話をきいて、感動というか、貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。
- * 家族の方の話が聞けても感慨深いものでした。ありがとうございました。
- * 本日はありがとうございました。多田さん、ご家族のお話しはとても興味深くもっと知りたいという気持ちになりました。最後はとても暖かい気持ちになれたので、私たちの明日からの仕事に生かしていきたいと思います。
- * 患者さんのご家族の思いを経過をおってスライドも使用し、お話があったことに大きな意義がありました。今後の訪問看護を実践していく上で、とても大切なことを学ぶ機会になったことに感謝します。次回も参加したいと思います。(現在、認知症精神科の訪問看護を行っています)
- * また在宅医療に関わって経験が浅いですが、終末期にご家族かとのよつに感じ、どのよつに選択していかれたのか知ることができ、ありがたかったです。よりよい選択ができるよう、こちらからの提示等、今後も色々学習しながら関わっていけたらと思っています。
- * 訪問看護師として働いていますが、ご家族の思いをこんなにもストレートに聞くことができ、とても良かったと思いました。今後の自分の働き方へも強く影響すると思いますし、役立たせることができると感じています。
- * 本当に貴重なお話をうかがえて有難い機会を得られたことに感謝致します。大変心のこもった皆さんのお話に大変うれしい気持ちになりました。「豊かな最期」泣いて笑っての最期。ご家族関係も素晴らしいですね。
- * 家族側の意見をリアルタイムで聞けたのは貴重な体験だったと思います。家族のこういった輪を増やしていけば、不安や苦労面も軽減できるのではないかと思います。
- * 御家族の体験談がとてもためになりました。在宅看護を続けていきたいなという思いにつながりました。
- * 患者の家族という立場で参加しました。訪問介護は入れていましたが、近々に(やまと@クリニックに)在宅医療をお願いすることになり、これからの一歩のヒントになりました。
- * ご家族側のお話を聞いて、働く上で大切にしようと思うことが分かりました。
- * ご家族の“生”の声が本当に良かった。話されていた通りで、いろいろな“生”の事例のつみかさねは大切と思いました。
- * 改めて本人・家族の想いの大切さを実感しました。
- * 確かに介護を受ける側の家族の悩み、意見をお聞きになれる機会は少ないとは思いますが。参考になる意見が多く得られる様になれば、他の被介護御家族の意志誘導もし易くなるでしょうね。